

罪：その性質、結果、そして救済策を理解する

罪は人類最大の難題であり、私たちが神から引き離し、神の赦しを必要とします。本研究では、人類の霊的な状態、罪の結果、罪の様々な形態（作為と不作為）、そして信仰の表明として貧しい人々への奉仕を含む、正しく生きるという聖書の教えを探求します。聖書、個人的な考察、そして実践的な応用を通して、罪の影響と神の解決策を理解することを目指します。

1. 人類の精神的状態

聖書：ペテロの手紙第一 2 章 9-10 節 人類は神の御前において、闇の中か光の中かのどちらかの状態にある。中間の状態、つまり「薄明の領域」は存在しない。

- 闇：特徴としては、「民ではない」こと、慈悲がないこと、許されないこと、神から引き離されていることなどが挙げられる。
- 神の光：神に選ばれた民であり、神の憐れみを受け、キリストを通して赦された者であること。追加の聖句：ヨハネによる福音書 8 章 12 節-イエスはこう宣言しています。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことはなく、いのちの光を持つでしょう。」これは、霊的な状態の二元性を強調しています。キリストに従うことは光をもたらし、キリストを拒絶することは闇の中に残るのです。

暗闇	神の光
民族ではない	神の民
容赦なし (許されざる者)	慈悲を受けた (許された)

重要なポイント：神の光の中にいるということは、単なる知的な啓蒙ではなく、変容をもたらす霊的な状態です。それは、神の恵みによって可能になった、神との関係の回復を反映しています（エペソ 2:8-9：「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです…」）。

2. 罪の結果

罪は深刻な影響を及ぼし、私たちを神から遠ざけ、私たちの永遠の運命に影響を与える。

A. 罪は私たちを神から引き離す

聖句：イザヤ書 59 章 1-3 節 罪は私たちと神との間に障壁を作り、私たちを霊的な闇の中に置きます。「血で汚れた」手で象徴される私たちの罪悪感は、キリストの死に対する私たちの責任を反映しています。神は無力ではありません。神の腕は短くなく、神の耳は鈍くありません（1 節）。例：罪のために人が神の光から隔てられている壁を想像してください。「あなたは壁のどちら側にいますか？もし今夜死んだら、あなたは救われるでしょうか？」と問いかけてください。

- 確信が持てない人には、自分が無知であることを正直に認めるよう促しましょう。
- 神と正しい関係にあると主張する人には、その確信にやんわりと疑問を投げかけ（例えば、「なぜそう確信できるのですか？」）、あるいは、悔い改められていない罪については、後日、悔い改めに関する学習の中で取り上げましょう。
- 明らかに罪に囚われている人には、「それはとても疑わしい」と率直に答え、イザヤ書 59 章 1-3 節をもう一度読んで確認しましょう。追加の聖句：詩篇 66 篇 18 節-「もし私が心に罪を抱いていたなら、主は耳を傾けてくださらなかったでしょう。」これは、対処されない罪が神との交わりを妨げることを強調しています。追加の聖句：ローマ人への手紙 1 章 18-20 節-「神の怒りは、不敬虔と不正を行う人々のあらゆる行いに対して、天から啓示されています。彼らは不正によって真理を抑えつけているからです。神について知りうることは彼らに明らかです。なぜなら、神がそれを彼らに明らかにされたからです。世界の創造以来、神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性は、造られたものを通して理解され、はっきりと見えているので、人々には言い訳の余地がありません。」これは、罪による分離は、神に関する明白な真実を意図的に抑圧することから生じるものであり、人類は神を拒絶したことに対して責任を負い、言い訳の余地がないことを強調している。

B. 罪は罪悪感と非難をもたらす

聖句：エゼキエル書 18 章 20 節 罪を犯した魂は責任を問われ、裁きを受ける。罪は個人的なものであり、遺伝するものではないため、個人の責任が強調される。追加の聖句：ローマ人への手紙 3 章 19 節-「全世界は神に対して責任を負う」とあり、罪を犯すことで私たちは聖なる神の前で罪人となることを改めて強調している。

C. 罪は靈的な死につながる

聖句：ローマ人への手紙 7 章 7-13 節 神の律法によって明らかにされた罪は、靈的な死、すなわち神の命を与える臨在からの分離をもたらします。その他の聖句：エペソ人への手紙 2 章 1-2 節-「あなたがたは、自分の背きと罪によって死んでいたのです」と述べ、悔い改めない罪人の悲惨な状態を強調しています。

D. 罪は私たちが神の目的から遠ざける

聖句：ローマ人への手紙 3:22-24 すべての人は罪を犯し、神が人類に与えようとされた目的である神の栄光に達していません。類推：グランドキャニオンを飛び越える — 最も優れた人でも、向こう岸にたどり着くことはできません。同様に、誰も自分の努力によって救いを得ることはできません。応用：「罪とは何だと思えますか？」と尋ねます。よくある答えには、神の律法を破ること (1 ヨハネ 3:4) や、正しいと分かっていることをしないこと (ヤコブ 4:17) などがあります。これは、罪を身近な形で紹介します。追加の聖句：伝道の書 7:20 — 「義人はいない、一人もいない」とあり、罪の普遍性を肯定しています。

E. 罪の究極の結果：永遠の死か永遠の命

聖句：ローマ人への手紙 6:23 罪の報酬は死ですが、神はキリストを通して永遠の命を与えてくださいます。私たちはこの二つの道から選ばなければなりません。追加の聖句：ヨハネの黙示録 21:8 - 臆病、不信仰、欺瞞などの罪を列挙し、そのような罪は地獄での「第二の死」につながると警告しています。これは永遠の命に関わる重大な問題であることを強調しています。追加の聖句：ヨハネによる福音書 3:36 - 「御子を信じる者は永遠の命を得る。しかし、御子を拒む者は命を見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。」これは命と死の選択を明確にしています。

F. 罪の結果の進行：神の裁きによる見捨て (ローマ人への手紙 1:24-28)

人類が神を拒絶するとき、神は裁きの形で彼らを罪に任せ、罪がエスカレートしてその破壊的な力を現すことを許されます。この進行は 3 つの段階で説明され、罪が人間の心と社会にどのように根付くかを示しています。聖書：ローマ人への手紙 1 章 24 節-「それゆえ、神は彼らを心の淫らな欲望のままに、互いに体を汚す性的不純に任せられました。」この最初の任せ方は偶像崇拜に対応しており、神の計画から外れた欲望によって体を辱めることとなります (参照：コリント人への手紙第一 6 章 16-19 節)。聖書：ローマ人への手紙 1 章 26 節-「このため、神は彼らを恥ずべき欲望に任せられました。女たちでさえ、自然な性関係を不自然なものに替えました。」この 2 番目の段階は、自然に反する

同性愛に代表される墮落した情欲を含み、靈的な空虚や病気などの固有の罰があります。聖句：ローマ人への手紙 1:28 –「また、彼らは神を知ることが益と見なさらなかったため、神は彼らを墮落した心に任せ、彼らはなすべきでないことをするようにされた。」最終的に神に任せられると、健全な道徳的判断ができない、承認されない心となり、数々の悪徳に陥ります。例：川を下る舟や豚小屋に直面する放蕩息子（ルカによる福音書 15:11-32）のように、神の見捨ては能動的な原因ではなく、受動的な抑制からの撤退です（相互参照：ホセア書 4:17、詩篇 81:12）。適用：神の真理を拒絶したために、あなたの生活の中で罪がエスカレートしている領域について考えてみましょう。「私は自分の欲望のために神の計画と交換してしまっただろうか？」と自問してみましょう。これは罪の奴隷化の性質と悔い改めの必要性を浮き彫りにします。

3. 罪の種類

罪は主に二つの形で現れる。すなわち、行為による罪（積極的に悪事を働くこと）と、不作為による罪（正しいことをしないこと）である。

A. 実行罪：神の意志に反する明白な行為

聖句：ガラテヤ人への手紙 5:19-21 肉の行いは明らかであり、私たちを神の国から遠ざける。例としては以下のようなものがある。

- 性的な不道徳、不純、放蕩
- 偶像崇拜、魔術
- 憎しみ、不和、嫉妬、激怒、利己的な野心、分裂、派閥、羨望
- 酩酊、乱交、その他類似の行為応用：これらの罪と格闘した個人的な例を共有して、率直さを促します。質問：「これらの罪のうち、どれと格闘したことがありますか？」個人の状況に合わせて話し合いを調整し、「放蕩」（過度の耽溺）や「不和」（分裂を引き起こす）などの用語を定義します。質問：いくつの罪で天国に行けなくなるのでしょうか？ 答え：たった1つ。1つの罪でも深刻であることを示しています。オプションのエクササイズ：個人に、反省のために自分の罪をリストアップするように促し、気が向いた場合にのみ共有します。聖句：マルコ 7:21-22 罪は心から生じ、育ちや環境によって影響を受けますが、それによって正当化されるわけではありません。具体的な罪について話し合います：
- 性的不道徳（例：姦淫、婚前性交渉、同性愛、ポルノグラフィー。コリントの信徒への手紙一

6:9、18、マタイによる福音書 5:28 を参照)

- 貪欲、悪意、欺瞞、淫らな行い、嫉妬、中傷追加の聖句: コロサイ人への手紙 3:5-9 –情欲、貪欲、怒りなどの罪を列挙し、信者にこれらの行いを「死に至らしめる」よう促しています。聖句: 2 テモテ 3:1-5 終わりの日には、人々は神よりも自分自身、お金、快楽を優先し、傲慢、虐待、真の信仰のない「敬虔の形」などの特徴を示します。適用: 「あなたが最も愛しているのは神ですか、それとも世の快楽ですか?」と尋ねます。これは、敬虔に見えても真の献身を欠いている宗教的な人々を対象としています。追加の聖句: 1 ヨハネ 2:15-16 –「世と世にあるものを愛してはならない…世にあるすべてのもの、すなわち肉の欲、目の欲、生活の誇りは、父から出たものではなく、世から出たものだからです。」これは、世の物への愛を罪と結びつけています。聖句: エペソ人への手紙 5:3-7 信者の間には、不道徳、貪欲、卑猥な言葉の気配すらあってはなりません。罪を犯し続ける者には神の怒りが下ります (6 節)。適用: 不適切な行動 (例えば、下品な冗談) に対する反応について話し合います。世俗的な習慣からの徹底的な決別を強調します (7 節)。追加の聖句: ローマ人への手紙 1:21-23 –「彼らは神を知っていながら、神を神として崇めず、感謝もせず、かえって彼らの思いはむなしくなり、愚かな心は暗くなりました。彼らは自分たちは賢いと称しながら、愚か者となり、不滅の神の栄光を、人間や鳥、獣、爬虫類に似せて作られた像と取り替えました。」これは偶像崇拜を、創造主への崇拜を被造物と取り替えるという、根本的な罪として強調しており、さらなる墮落につながり、他の多くの罪の根本原因となっています。

行為の罪における三つの交換 (ローマ人への手紙 1:23、25、26-27)

罪はしばしば、神の真理から離れて欺瞞的な「取引」を行い、墮落を増幅させる。

- 交換 1: 栄光と墮落 (1:23): 神の栄光を被造物の像と交換し、偶像崇拜と人間の尊厳の喪失につながる。
- 交換 2: 真実を偽りに置き換える (1:25): 神の真実を嘘に置き換え、創造主よりも被造物を崇拜し、良心を麻痺させる。
- 交換 3: 自然なもの和不自然なもの (1:26-27): 神が定めた関係を捨てて恥ずべき欲望に身を任せ、当然の罰を受ける。適用: 自分の生活を吟味し、神よりも自分を優先するなど、このような交換がないか確認しましょう。聖書を用いて誘惑に抵抗し、悔い改めましょう。

追加の聖句: ローマ人への手紙 1:28-32 –「さらに、彼らは神を知ることを見なさらなかったため、神は彼らを墮落した心に任せ、彼らはなすべきでないことをするようになりました。彼らはあら

ゆる種類の悪、邪悪、貪欲、墮落に満ちています。彼らはねたみ、殺人、争い、欺き、悪意に満ちています。彼らは陰口を言い、中傷し、神を憎み、傲慢で、高慢で、自慢屋です。彼らは悪を行う方法を考え出し、親に逆らい、理解力も、誠実さも、愛も、憐れみもありません。彼らは、このようなことを行う者は死に値するという神の正しい定めを知っていながら、自らもこれらのことを行い、それを行う者たちを賛美するのです。」このリストは、神を拒絶することの結果について詳しく説明し、罪に満ちた墮落した精神状態、つまり他人の悪を容認することなど、悪を増幅させる行為を例示し、そのような行為が死につながることを強調している。

ローマ人への手

紙 1 章 28-32 節

に記されている

罪の種類	例	説明
道徳的墮落	邪悪、悪、貪欲、墮落	意図的な腐敗、他者を犠牲にしてでも過剰な欲望を抱くこと、善良な資質に欠けること。
人間関係の罪	嫉妬、殺人、争い、欺瞞、悪意、陰口、中傷、神を憎む者、無礼、傲慢、自慢、親への不従順、理解の欠如、忠誠心の欠如、愛の欠如、慈悲の欠如	他人の成功に対する恨み、野心からくる争い、利益を得るための欺瞞、秘密の悪意ある話、公然とした悪口、他人を劣質な存在として扱うこと、自然な愛情や思いやりの欠如。
革新的な悪	悪事を働く方法を考案する	新たな形の悪を生み出す。
共犯	そのようなことを実践する人々を承認する	裁きを知りながら、罪を容認する。

B. 怠慢の罪：善行を怠ること

聖句：ヤコブ 4:17 正しいと分かっていることを行わないことは罪です。良心は私たちに責任を負わせません。その他の聖句：マタイ 25:41-46 -イエスは困窮者を顧みない人々を非難し、無為を罪と同一視しています。

C. 一つの罪で有罪になる

聖句：ヤコブ 2:8-11 神の律法の一部でも破ると、すべての罪を犯したことになります。なぜなら、すべての罪は神への不従順だからです。追加の聖句：ローマ 3:10-12 -「義人は一人もいない。一人も

いない。…皆、道を踏み外した。」これは、どんな罪でも、私たちが神の前で罪人にするということを改めて示しています。

4. 特定の罪と聖書に基づく指針

A. アルコール

聖句：イザヤ書 5:11、箴言 23:29-35、ガラテヤ人への手紙 5:21 飲酒そのものではなく、酩酊状態が罪です。アルコールは本質的に悪ではありませんが、危険です。聖句：コリント人への手紙第一 8:9、ローマ人への手紙 14:21 アルコールの使用によって他の人をつまづかせないようにしなさい。苦しんでいる人にとっては、禁酒が最善かもしれません。追加の聖句：ペテロの手紙第一 4:3-4 –信者が捨てるべき異教の慣習の中に酩酊状態を挙げています。

B. ディスコ、麻薬、ギャンブル

聖句：テトス 2:5、7-8、10 福音を魅力的にするために生き、信仰を偽るような行動を避けなさい。聖句：エペソ 5:3 ディスコやクラブのような場所では、悪の兆候さえも避けなさい。聖句：1 コリント 6:20 麻薬は、神の神殿である体を傷つけます。聖句：マタイ 25:21、箴言 3:9 ギャンブルはしばしば弱者を搾取し、不適切な管理を反映しています。追加の聖句：1 テモテ 6:10 –「金銭を愛することは、あらゆる悪の根源である」と述べ、ギャンブルの貪欲さを罪と結びつけています。

C. 喫煙

聖書：ローマ人への手紙 6:12; ペテロの手紙第二 2:19; ルカによる福音書 17:1-3a; テトスへの手紙 2:6-10; ローマ人への手紙 14:23; ペテロの手紙第一 2:12; マタイによる福音書 7:12; ピリピ人への手紙 2:4; ローマ人への手紙 12:1; コリント人への手紙第一 6:20; コリント人への手紙第二 7:1; テサロニケ人への手紙第一 5:23; エペソ人への手紙 5:16; マタイによる福音書 25:21; ピリピ人への手紙 4:6; ペテロの手紙第一 5:7 喫煙は人を束縛し、悪い手本を示し、体に害を与え、資源を浪費します。不安に対処するための祈りの代わりにはなりません。追加の聖句：コリント人への手紙第一 10:31 –「すべては神の栄光のために行いなさい」、喫煙のように神を辱める習慣に異議を唱えています。

D. オカルト

旧約聖書の聖句：レビ記 19:31、サムエル記上 28、歴代誌上 10:13、イザヤ書 8:19 オカルトは神から離れて力を求めるため禁じられています。新約聖書の聖句：使徒行伝 19:19、ガラテヤ人への手紙

5:20、テサロニケ人への手紙第二 2:9、ヨハネの黙示録 21:8 魔術と妖術は重大な罪であり、永遠の結果をもたらします。その他の聖句：申命記 18:10-12 –オカルトの行為は神にとって「忌まわしい」ものとして列挙されています。

E. 性的な罪

聖書：創世記 2:24; エペソ人への手紙 5:3; 創世記 34; 創世記 29; マタイによる福音書 5:28; コリント人への第一の手紙 6:9, 18; ローマ人への手紙 1:26-27; レビ記 18:22; 創世記 19:1-11; 創世記 39:9; ハバクク書 2:15; ヘブライ人への手紙 13:4; 出エジプト記 22:16; コリント人への第二の手紙 12:21; ペトロの手紙第二 2:14; レビ記 18; ローマ人への手紙 6:19-21; テサロニケ人への第一の手紙 4:3; ヨハネの黙示録 2:21; 申命記 22:20-22; ローマ人への手紙 13:14; テモテへの第一の手紙 5:2; ヨハネの黙示録 21:27; ヨブ記 31:1; コリント人への手紙第一 5:9-11、テモテへの手紙第二 2:22、ヨハネの黙示録 22:15 性的な罪（婚前性交、姦淫、同性愛、ポルノ、自慰）は、情欲に満ちた心から生じ、神が定めた関係のあり方に反します。適用：思考パターン（例：自慰中の情欲）や社会的な圧力について率直に話し合います。追加の聖句：コリント人への手紙第一 7:2-3 –結婚は、神が定めた性的な表現の場であり、不道徳から守ってくれます。

F. 唯物論

聖句：箴言 30:7-9、エペソ人への手紙 5:5、ルカによる福音書 (30 節以上) 貪欲と物質主義は、神よりも自分を優先し、他人の必要に鈍感にさせます。推奨読書：RJ Sider 著『飢餓の時代の裕福なクリスチャン』。その他の聖句：マタイによる福音書 6:24 –「あなたがたは神と富とに仕えることはできません」、テモテへの手紙第一 6:17-18 –裕福な信者は寛大でなければなりません。

5. 神学的な問題

A. 許されない罪

聖句：マタイによる福音書 12:22-37 赦されない罪とは、神の明白な働きを拒絶し続ける頑なな心のことです（例えば、イエスの奇跡をサタンの仕事とみなすことなど）。追加の聖句：ヘブライ人への手紙 6:4-6 –啓示を受けた後に信仰から離れることへの警告であり、悔い改めない拒絶の危険性を示しています。

B. 原罪

聖句: 詩篇 51:5 この節は比喩的な表現であり、詩篇 22:9、58:3、71:6 に示されているように文字通りの意味ではありません。これは、罪が遺伝的に受け継がれることを教えていません。聖句: ローマ人への手紙 5:12 アダムの子によって死がもたらされたため、すべての人が罪を犯して死にますが、罪は個人的なものであり、遺伝的に受け継がれるものではありません (エゼキエル書 18:20)。キリストの犠牲は、信仰次第ですべての人に救いの可能性を与えます。聖句: マタイによる福音書 18:3、19:14 イエスは子供たちを信仰の模範として支持し、子供たちに固有の罪があるという考えに反論しています。その他の聖句: 申命記 24:16 -「親は子のために死刑に処せられず、子も親のために死刑に処せられてはならない」とあり、個人の責任を強調しています。

C. 罪人の祈り

聖句: ヨハネによる福音書 9:31、詩篇 66:18、マタイによる福音書 7:7、使徒言行録 10:4、ヘブライ人への手紙 4:13 罪は祈りを妨げますが、神はご自身を求める者の祈りを聞いてくださいます。クリスチャンは非クリスチャンよりも神に近づくことができます。息子と召使いの違いのようなものです。追加の聖句: ペテロの手紙第一 3:12 -「主の目は義人を見守り、その耳は彼らの祈りに傾けられる。」

D. 破門／除名

聖句: マタイ 18:15-18; テトス 3:10; ローマ 16:17; 1 コリント 5:11; 2 テサロニケ 3:6-15 除名は、明確な手順に従って、悔い改めない重大な罪 (不道德、貪欲など) または分裂に対処するものです。怠惰は警告の対象であり、除名の対象ではありません。追加の聖句: 2 コリント 2:6-8 -回復は懲戒の目標であり、悔い改めの後に愛と赦しを促します。

6. 貧しい人々への奉仕：聖書が示す義務

弟子たちが福音を伝えるよう召されているのと同様に (マタイ 28:19-20)、私たちが貧しい人々を助けるよう命じられています (マタイ 25:35-40)。この二重の使命は、霊、魂、体という人間全体に対する神の御心を表しています (テサロニケ第一 5:23)。

A. 聖書の教え

聖句: 詩篇 82:3-4 神は弱者と貧しい者を深く顧みられるので、彼らを守りなさい (出エジプト記 34:6、詩篇 113:7-8)。聖句: コリント人への第二の手紙 8:9 イエスは私たちが豊かにするために貧

しくなられ、えこひいきなくすべての社会階層に手を差し伸べる模範を示されました（ヤコブの手紙 2:1-13）。聖句：ルカによる福音書 10:29 善きサマリア人のたとえ話は、「隣人」を困っている人すべてと再定義し、行動しない言い訳を排除します。聖句：ヤコブの手紙 1:27 真の宗教は孤児、寡婦、虐げられた人々を顧みます。聖句：ガラテヤ人への手紙 2:10 パウロの伝道への熱意には、貧しい人々を覚えることも含まれていました。その他の聖句：

- イザヤ書 58 章 6-7 節-真の断食とは、飢えた人々と分かち合い、貧しい人々を覆うことである。
- 使徒行伝 2 章 44-45 節-初期のキリスト教徒は持ち物を分かち合い、互いの必要を満たし合った。

B. 言い訳に立ち向かう

物質主義や忙しさは、しばしば私たちを貧しい人々から遠ざけます。奉仕は寄付だけで済ませることはできません（マタイ 15:3-6）。個人的な関わりは、イエスの模範を反映しています。その他の聖句：ルカ 16:19-31 -金持ちがラザロを顧みなかったことが永遠の結果をもたらし、無関心に対する警告となっています。

C. 実践的な応用

- 飢えた人々に食料を与え、裸の人々に衣服を与え、囚人を訪ね、子供を養子に迎え、あるいは災害救援活動を支援する。
- 貧しい人々を家に招き入れ、彼らのために断食と祈りを行い、あるいは医療を提供しましょう。関連聖句：マタイによる福音書 10 章 8 節-「あなたがたはただで受けたのだから、ただで与えなさい。」

D. まとめの質問

- お金を寄付することは、貧しい人々との個人的な関わりを代替するものだろうか？
- 「人は、あなたがどれだけ知識を持っているかよりも、あなたがどれだけ思いやりを持っているかを知るまで、あなたの知識量には関心を持たない」という考えに賛成ですか？
- 最後に個人的に恵まれない立場にある人と交流したのはいつですか？
- 貧しい人々への奉仕に関する聖書の教え（例えば、ルカによる福音書、使徒言行録、箴言など）を学ぶ準備はできていますか？

- どのような生活習慣の変化が必要でしょうか？注：教会によっては、たとえ自分自身が貧しくても、貧しい人々を積極的に支援することを信徒に求めているところもあります。これは聖書の教えに基づく優先順位を反映し、福音の魅力を高めるものです（使徒行伝 2:44-45、ガラテヤ人への手紙 6:10）。聖書を学び、祈り、そして自分の確信に基づいて行動しましょう。

7. 結論

罪は私たちを神から引き離しますが、キリストを通して与えられる神の赦しは私たちを回復させてくれます。赦しへの第一歩である悔い改めについて、次に学びます。貧しい人々への奉仕は弟子としての生き方と切り離すことができず、福音の包括的なメッセージを体現するものです。宿題：この学びを復習し、詩篇 51 篇を読み、ヨハネによる福音書を読み進めてください。自分の罪と、困っている人々を助ける機会について考えてみましょう。